

# 「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成30年 6月 27日

仕事の内容	福祉祭補助事業【社会福祉協議会運営・補助事業】					
担当部署・課長名	福祉部福祉推進	課	庶務	係	課長名	嶋田 淳

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。

【施策】 地域福祉の推進

(総合計画書 65 ページ)

予算名	款 3 民生費	項 1 社会福祉費	目 1 社会福祉総務費	事業 15 東大和市社会福祉協議会運営・補助事業費
-----	---------	-----------	-------------	---------------------------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 市民	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) → 参加団体数
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 福祉に対する理解を深めることにより、地域福祉を推進する。	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) → 福祉祭収益金 ・市補助金(464,000円) ・主催者負担金(700,000円)
	③ そのために何をしましたか。 住民相互が助け合い、市民が地域福祉に理解と関心を持つため、福祉祭に係る費用の一部を補助するとともに、開催にあたり協力する。	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) → 補助金額

		単位	平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度目標	平成31年度目標
2 指標の推移	対象指標	①の数値	団体	27	49	46	
	成果指標	②の数値	円	1,368,118	1,164,000	1,164,000	
	目 標	②の目標値					
		目標値設定の考え方	社会福祉協議会が収益する福祉祭における収益金額				
活動指標	③の数値	円	464,000	464,000	464,000		

3 経費	事業費(実績)	円	464,000	464,000	464,000	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,253,000円 時間単価は、4,200円で計算してください。 【算出根拠】平成28年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)	
	財源	一般財源	円	464,000	464,000		464,000
		特定財源	円	0	0		0
		(うち受益者負担)	円	0	0		0
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.1	0.1		0.1
		所要人数(再任用)	人				
		職員人件費(再任用以外)	円	823,300	826,700		825,300
職員人件費(再任用)	円						
事業費+人件費	円	1,287,300	1,290,700	1,289,300			

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 昭和48年に福祉祭の前身である福祉バザーを社会福祉協議会と民生委員・児童委員協議会と共催で開催した。昭和53年に名称を福祉祭に改め、社会福祉協議会と東大和市の共催となった。昭和56年には市の四大祭となった。平成9年から社会福祉協議会主催・東大和市が後援、の形となった。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 現在は実行委員会が主体となって実施している。収益は減少しているが、多くの市民・団体が活発に参加している。

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成29年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 産業祭と合同開催にしてはどうかとの意見がある。 福祉団体や社会奉仕団体の活動により、広く市民へ地域福祉に対する理解と協力を広げている。
-------------	--

仕 事 の 内 容	福祉祭補助事業【社会福祉協議会運営・補助事業】			
担当部署・課長名	福祉部福祉推進	課	庶務	係 課長名 嶋田 淳

6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択しご記入ください。(複数回答可)			
	取組みは無い	取組手法	⑤・⑥ 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体: ) ⑦後援・場の提供 ⑧その他( )	
	(2)平成30年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点をご記入ください。 特になし			
7 課 題	(1)平成28年度の課題についての解決に向けた取組や、事務改善など、平成29年度に実施したことをご記入ください。 主催者の対応に改善を要する点が散見された。			
	(2)この仕事を振り返り、課題をご記入ください。 安全面の強化及び主催者側との連携が必要である。			
8 今 後 の 方 向 性	(1)仕事の方向性(「7 課題(2)」を踏まえた具体的な改革・改善案など)			
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等を具体的にご記入ください。			
	(3)改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。			
成果	成果を維持する。		経費	仕事の経費は維持する。